

効果概要: 灯台用の機器を耐波浪型LED灯器へ換装するとともに、電源を太陽電池化するなどの災害に強い機器への整備による信頼性向上対策を講じたことにより、令和4年台風14号では、暴風を伴う波浪(近傍海域で最大波高約6メートル)を観測したが、波浪によるLED灯器の損壊や消灯などを防止し、航路標識の機能を維持した。

府省庁名: 国土交通省 海上保安庁

## ■ 実施主体: 海上保安庁 第十管区海上保安本部

対策の概要: 灯台光源のLED化、電源の太陽電池化  
電力線路の撤去 等

## ■ 事業費: 事業費約400万円

(うち5か年緊急対策による事業費約400万円)

## ■ その他(対策の経緯)

令和元年房総半島台風や令和2年の台風の影響により、航路標識の消灯事故等が多発したことを踏まえ、災害等における安定運用が可能な機器等への換装を実施したもの。

対策前



▲ 電力線路

対策後



▲ 太陽電池パネル



▲ 白熱電球



▲ 耐波浪型LED灯器